

とまこまい

昭和37年10月20日 第335号 毎月1、10、20日発行 (定価1部5円)

発行所 北海道苫小牧市役所

編集発行人 新岡正敏
昭和28年6月28日
第三刊重復影取可

人口動態(九月末)

| | |
|----------|--------|
| 世帯数 | 一五、三五七 |
| 人口数 | 七〇、六五八 |
| 男 | 三五、九〇八 |
| 女 | 三四、七四八 |
| 出生 | 一〇〇人 |
| 死亡 | 二〇〇人 |
| 転入 | 五五〇人 |
| 転出 | 二二七人 |
| 前住地未登録等増 | 減八人 |
| 転入 | 八八人 |
| 世帯増加 | 三九〇人 |
| 人口増加 | 三八三 |

(住民登録人口による)

一万二千個を投入

漁獲増の効果に多大な期待

魚のアパートといわれるコンクリートブロック(魚礁)の投入は、もう間もなくことしの分を終ります。

市では、沿岸魚田改良を目ざして昭和二十九年に五、四四〇個の石材を沖合に投入してから三十三年まで第一期水産振興五カ年計画を完成、さらに三十四年から第二期五カ年計画を進めております。この間、三十一年から胆振管内では初めての並型コンクリートブロックを取り上げ、三十六年には大型魚礁に切り替え、全額国費(二十九年から三十五年まで市費三分の一、道費三分の二)で沖合に三千坪から四千坪の間に投入してあります。

魚のアパート

二十九・三十年に投入された石材は計九千四百四十個、また三十一年からことしまで継続的に投入されたコンクリートブロックは並型大型合わせて約一万二千個、これらの事業費はざっと三千五百万円に達しております。このうち、ことしの分は大型三千二百個の一千二十五万円が全額国費、今月中に錦岡沿岸への投入を完了することになっております。

この魚礁築設によりことごとく(写真はハシケにつまみで海中投入に出る魚のアパート―苫小牧港で)

ことしの赤い羽根街頭募金は、目標額の三倍をこえる好成績を挙げ、この募金は一日から十三日まで市内目抜き通り七カ所で行なわれ

魚田改良事業の効果があるものと大きな期待がかけられております。

目標額の三倍をこえる好成績

三十万 四十万
赤い羽根街頭募金の総決算

一日名士(市長、議長、市議、道共募苦小牧支会役員など)はじめ市内婦人会、日赤奉仕団、老人クラブ(寿クラブ)、洋裁学校、女子高校、美



交通安全日

毎月一日、十一日、二十一日

苫小牧交通安全協会
苫小牧警察署

| | | |
|-------------|------|-----|
| 1月1日~10月17日 | 308件 | (減) |
| 交通事故数 | 263人 | (増) |
| 傷 | 6人 | (増) |
| 死 | 22人 | (減) |
| (昨年同) | 309件 | |
| | 263人 | |
| | 6人 | |
| | 22人 | |

管理容学校生徒、ボーイスカウト、ガールスカウトなど延べ二七〇人余りが奉仕しましたが、総額三十万四千七百十三円に達し、目標十萬円の三倍以上、昨年の二十五万四千六百円より五万円以上をオーバーしました。これは、十三日間ほとんど好天続きであったことと、奉仕者の募金箱を昨年より十箱ふやして三十箱としたため、連日ほとんど全員にゆきわたり、各自が自由に移動して歩き、今までにない幅広い行動ができたためとみられております。

交通安全市民大会は十四日午後一時から産業会館空地で開かれました。この日、関係者、一般市民など約五百人が集まり、まず田中市長(苫小牧市安全都市推進協議会長)中村清一郎氏(苫小牧交通安全協会会長)のあいさつ、小林警察署長の祝辞のあと、若草小六年佐久間裕一、西小六年武久江、緑小六年茂垣栄治の三君が交通安全防止の作文を朗読、交通安全事故による遺族代表として糸井吉田常松さん(西小)が昨年六月二十五日朝輪禍で愛児律子ちゃん(当時五才)を失った哀切の情をうたったえ、参会者一同の涙をさそった。この悲しみを再び繰り返しては

わたしの悲しみを
繰り返さぬように
愛児失った父がうったえる

有意義だった交通安全市民大会

ならないとの決意を新たにさせました。自家用運転者協会代表塩家副会長が安全運転と飲酒運転の禁止を宣言、全員で交通安全の歌を合唱、最後に交通安全防止祈願のため一分間の黙とうを行ないました。引き続き、市中行進に移り、緑十字の安全旗をトップに道警本部音楽隊、緑小鼓笛隊東中、西校ブラスバンド、若草小鼓笛隊、東高ブラスバンド、自衛隊第七師団音楽隊の順で音楽パレード、このあとに交通安全の標語をかかげた十教台の自動車が続ぎ、しばし市中は交通安全ムードに包まれた感じでした。

自転車の2人乗りは
やめましょう

自転車の手信号を
励行しましょう

学校だより

苦小牧市立勇弘小学校

創立 明治二十八年十一月
校長 近江謙三



19 人
831 人
27 人

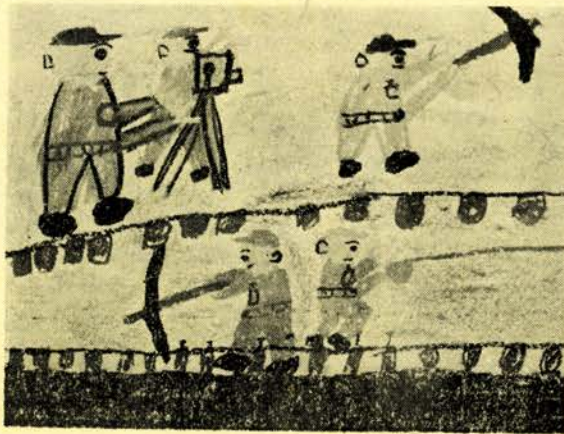
校章のいわれ

「ペン」は「智」で、しっかりみんなんきょうしよう玉は「仁」で大きい高い心をもとう。勇は地名であるとともに、やさしいつよい大人にならうの校訓を表わし、北の国に育つ子どもの姿を象徴しています。

私たちの学校

夏は、花でかざる学校、冬は、図画、習字などでかざる学校が、私たちの勇弘小学校なのです。学校の横に、鉄道が半分以上もひかれていて、復するにも、ゆるくはなす。うるさくはない、勉強もろくにできない、みんなの、なみでしよう。けれど、私たちに子供会というものがあります子供会とは、近くの人のためのグループといつてもよいでしょう。これができたら、二、三

年にもなります。夏休み中には、子供会で、旅行をしたり、すもう野球、ソフト大会などをして、すごします。冬休み中は、スケートトランプ、かるた大会などをして楽しくさせてくれるのが、子供会といつてもよいでしょう。子供会は十ぐらひに分かれています。私たちの子供会は、輝く子供会といひます。この夏休み中に、子供会で苦小牧の養老院へ行きました。養老院には、おばあさん、おじいさんが、しわをたくさん見せて笑っていました。私は来年中生です。小学生の最後のおわかれに、うんと勉強し、あるいところをどんどんおもしろい私のお秘密の学校。



(写真は学校前の工事風景)

文：六年斉藤紀代子

絵：二年まつおたくじ

①密造酒類は不完全な設備あるいは場所であらざるばかりでなく、製造技術が幼稚であるため発酵過程において、ブーゼル油あるいはメチルアルコール等毒物が発生し、これを飲用することによって神経系統が侵されまた胃腸障害にかり、人体に極めて有害なものであります。

②酒類を密造することは国の法律を犯すことになり、子どもさん達に極めて悪い影響を与え、家庭教育上からも好ましくないことと

酒類の密造はやめましよう ブドウ等の果実を 発酵させても違法

苦小牧税務署

③密造酒類は、これを製造した者はもちろん単に所持しているだけでも処罰されます。

④下プロクばかりでなく一般家庭でブドウ等の果実を発酵させた場合も酒類を密造したことになる。

⑤酒類を密造したことが発見されれば、五年以下の懲役または五十万円以下の罰金に処せられます。

⑥密造酒類は、これを製造した者はもちろん単に所持しているだけで野大や畜大による危害がふえておりますが、被害者、加害者は危害の生じたときすぐ市保健課に届け出てください。

美拳

▽二万円―王子北星寮生一同(寮祭記念行事の純益金をそのまます福祉事務所へ)▽一、四五〇円とタオル手ぬぐい、石けんなど―第十回市施設見学参加婦人一同(代表朝倉喜美枝さんから十六日、市立養老院「静和荘」の老人たちへ)

第六回市勢要覧と 広報写真コンテスト

毎回多くの写真同好者からご協力をお願いしている市勢要覧掲載写真および広報写真、今回もつきつきの要領で募集いたしますから、ふるって応募ください。

当十
▼発表日 昭和三十八年二月末本人あてに通知するほか、市広報「とまこまい」に掲載いたします。

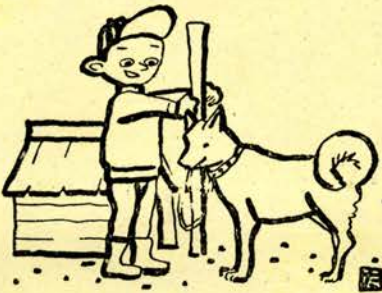
▼応募上の注意事項 ①応募者はつぎの事項を承知のうえご応募ください。

①応募資格は市内居住者で年齢は問わない ②応募点数は制限しないが、ただし未発表のものであること ③応募作品ごとに住所氏名、年齢、データと簡単な説明を裏面に記入すること ④応募作品は一切返却しません ⑤応募された作品は入選、非入選にかかわらず市勢要覧および市の刊行する印刷物に使用させていただきます ⑥くわしいことは市庶務課広報係(T-311)にお問い合わせください。

▼応募のし方 ①応募用紙を市勢要覧の裏面に貼る ②市勢要覧の裏面に貼る ③市勢要覧の裏面に貼る ④市勢要覧の裏面に貼る

必ずつないで 20日から野犬狩

市の第三次野犬狩とう(硝酸ストリキニーンによる薬殺)は、十月二十日から来年三月三十一日までの期間中、市管内全域にわたって行ないます。畜大所有者は鑑札を必ず受けて通行人に危害を加えない場所を選んで常時二尺以内のクサリでつないでおいてください。なお畜大は生後三ヶ月たったら登録して鑑札を受け、狂大病予防注射をしなけれ



石炭、コークス プロパンガス



王子 石炭

王子体育館前 でんわ 2420 3306

明るい家庭に
簡易保険